

土地改良事業計画書

令和6年度
農業生産基盤整備事業（ため池整備型）

土地改良事業計画書

県 名 茨 城 県
地区 名 狭 間 池 地 区
所在地 水 戸 市 加 倉 井 町
事業主体 水 戸 市

土地改良事業計画書

第一章	目的	第五章	附帯工事計画
第二章	事業の施行に係る地域の所在及び現況	第六章	工事の着手及び完了の予定時期
	第1節 地域の所在	第七章	環境と調和についての配慮に関する事項
	第2節 地域面積	第八章	換地計画の概要
	第3節 現況	第九章	事業費の総額及び内訳
第三章	基本計画		第1節 事業費細目
	第1節 事業計画の要旨		第2節 資金計画
	第2節 用水計画	第十章	効用
	第3節 排水計画		第1節 効果
	第4節 区画整理計画		第2節 総費用総利益比
	第5節 道路計画	第十一章	計画図面
第四章	主要工事計画		
	第1節 用水施設		
	第2節 排水施設		
	第3節 道路		

第一章 目的

本計画により、護岸工事を行い、ため池機能を回復させ、災害等を防止し農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業経営の安定と向上を図ることを目的とする。

第二章 事業の施行に係る地域の所在及び現況

第1節 地域 茨城県水戸市加倉井町

第2節 地積 水田 3.1 ha 畑 〃 ha 計 3.1 ha

第3節 現況 当ため池は、明治時代に築造されその後、農業用水として同地区の水田に使用されてきた。平成23年に東日本大震災復旧事業にて南側堤体L=60mの内、約L=40mをふとんカゴにて改修し護岸されている。しかし、南側堤体の一部と東側堤体・西側堤体は土堤護岸のため波浪により著しく洗掘されており、南側堤体からは漏水も確認されている。そのため多面的機能を有するため池施設の維持管理が困難な状況である。
 本計画にて護岸工事を行い、ため池機能を回復させ、災害等を防止し農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業経営の安定と向上を図ることを目的とする。

第三章 基本計画

第1節 事業計画の要旨 本地区の護岸工事を行い、ため池機能を回復させ、災害等を防止し農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業経営の安定と向上を図る。

第2節 用水計画：該当なし

1. 計画減水深

区分	現況			計画			備考
	普通期最大	シロカキ水深	該当面積	普通期最大	シロカキ水深	該当面積	
	m	m	ha	m	m	ha	

2. 計画用水量

普通期 計画平均 単位揚水量 m ³ /s	水田かんがい		面積 ha	最大純用水量		損失率	粗用水量		備考
	代かき期 計画代かき 単位用水量 m ³ /s	普通期 m ³ /s		代かき期 m ³ /s	普通期 m ³ /s		代かき期 m ³ /s		
m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	ha	m ³ /s	m ³ /s		m ³ /s	m ³ /s	

第3節 排水計画：該当なし

受益面積	流出面積	排水方法	基準年	流出率	基準雨量	全排水量	単位排水量	備考
ha	ha				mm	m ³ /s	m ³ /s/ha	

第4節 区画整理計画：該当なし

長辺	短辺	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合	田差 (m)	備考
×						
×						
計						

第5節 道路計画：該当なし

新設又は改修	延長 (m)	勾配	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	舗装形式	備考
改修						
新設						

第四章 主要工事計画

第1節 用水施設：布製型枠 t=5cm L=83.7m 多段積かごマット護岸工(5段) L=26.0m

第2節 排水施設：該当なし

第3節 道路：該当なし

第五章 附帯工事計画：ネットフェンス工:H1.2m L=87.8m

第六章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和	7	年	月	日
完了	令和	8	年	3	月

第七章

環境の調和についての配慮に関する事項

- ・計画地区周辺では、特に配慮すべき生物等は確認されていない。
- ・計画地区周辺において貴重な生物等は確認されていないが、多様な生態系に配慮し、必要最小限の施工断面とする。また、施工中などに貴重な生物が発見された場合は、一次的に、捕獲・移動し工事後元の場所に戻す。

第八章 換地計画の概要 : 該当なし

第九章 事業費の総額及び内訳

第1節 事業費細目

(単位：千円)

工 種	全 体		令 和 7 年 度		令 和		年 度	備 考
	事 業 量	事 業 費	事 業 量	事 業 費	事 業 量	事 業 費		
純工事費	L=109.7m	29,960	L=109.7m	29,960				
測量試験費	—	—	—	—				
実施設計費	1.0式	2,540	1.0式	2,540				
用地買収補償費	—	—	—	—				
事務雑費	—	—	—	—				
計		32,500		32,500				

第2節 資金計画

(単位：円)

区 分	金 額	備 考
国補助金		
県補助金	16,250,000	32,500,000×50%
市町村補助金	16,250,000	32,500,000×50%
小 計	32,500,000	
借入金		
自己資金	0	
小 計	0	
合 計	32,500,000	

第十章 効用

第1節 効果 (単位：千円)

区分	項目	年総効果額 ②	年総増加所得額	備考
食料の安定供給の確保に関する効果				
1)	作物生産効果	102	102	別紙参照
2)	維持管理節減効果	730	730	〃
3)	国産農産物安定供給効果	320	0	〃
4)	災害防止効果	1,446	188	〃
	計	2,598	1,020	

第2節 総費用総便益比 (単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用(現在価値化)	①	36,546	別紙参照
年総効果額(便益)	②	2,598	〃
総便益額(現在価値化)	③	49,272	〃
総費用総便益比	④ = ③ ÷ ①	1.34 ≧ 1.0	〃

※評価期間(当該事業の工事期間+40年)

第十一章 計画図面

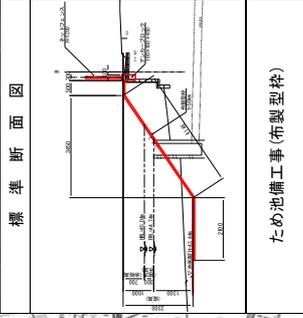
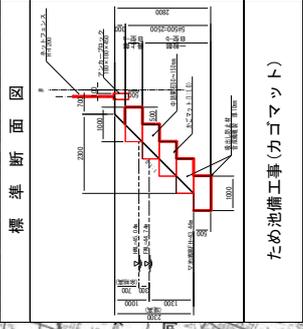
別紙の通り

農業生産基盤整備事業（ため池整備型）狭間池地区

縮尺 1/25,000



受益面積	3.1ha
主要工事	ため池整備 護岸工事 布製型枠 (L=5m) L=83.7m 多段積かごマット(5段階) L=26.0m
事業量	事業費
L=109.7m	32,500千円
関連事業	—
事業主体	水戸市



凡例	受益地 田 3.1ha
—	—
—	計画路線